



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

### News Pick Up !!

#### 平成28年度ジョイントセミナー報告 (インドネシア) 「ODA 社会資本整備事業事後評価における利用者視点導入」

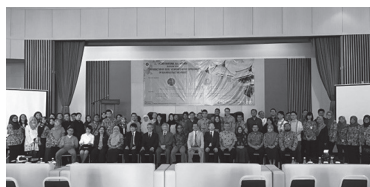
建設マネジメント委員会とインドネシア分会は、インドネシア土木・建築エンジニア協会(HAKI)とバンドン工科大学(ITB)との共催で、2017年3月30日にITBにおいて標記ジョイントセミナーを開催した。

日本側からは、横倉順治教授(東京工業大学)による基調講演、山岡暁准教授(宇都宮大学)、五艘隆志准教授(高知工科大学)、鹿野島秀行氏(国土技術政策総合研究所)、渡邊法美教授(高知工科大学)による講演があり、インドネシア側からは、HAKIの理事である Dr. Muslinang Moestopo の基調講演のほか、4名から被援助側としての経験を踏まえた講演があった(所属は、セミナー開催日の情報)。

今回セミナーを開催したITBのキャンパス整備では、1990年から日本のODA事業が実施されている。このため、今回のテーマ



ITBの学生によるアンクルンの演奏



再会を期して

は、インドネシア側にとっても関心が高く、70名を超える参加者から熱のこもった発表・意見交換が行われた。今後は、このセミナーで示された論点を関係者間で共有・検討し、その結果をインドネシア側に投げかけ、具体策を検討することになっている。

#### 「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」 第9回シンポジウム開催報告 (国際センター主催)

好評のシンポジウムが、「水害から市民を守る「フィリピン国オルモック市洪水対策プロジェクト」と題して、2017年5月16日、土木会館講堂において開催された。



Momo事務次官のビデオメッセージに聞き入る聴衆

開会挨拶の後、ACECCのTC21(防災TC)の共同議長である、公共事業道路省事務次官のRomeo S. Momo氏、および同省レイテ第4事務所のIrwin L. Antonio氏のビデオメッセージが放映された。次に(株)建設技研インターナショナルの賀来衆治氏から、23年間、同プロジェクトに関わった経験を踏まえ、対策の基本的考え方や維持管理の重要性等について講演があり、同社の藤田大介氏からは、若手ならではの視点から海外事業の魅力にも言及した講演があった。(独)国際協力機構の菊入香以氏からは成功要因や教訓の紹介があり、TC21の共同議長である竹内邦良氏(山梨大学名誉教授)からは、TC21の目標、オルモックの成果と科学的意思決定過程との関係性などの説明があった。最後に、田代民治会長から挨拶があり、閉会した。

(第9回シンポジウム開催報告の詳細は、下記HPの「イベント情報&開催報告」をご覧ください。)

### Event Calendar

国際センターが企画するイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

News Pick Up ! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

- 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>
- 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
- Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>
- (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>